

SDGs 持続可能な感染対策について考える



氏名：松永早苗 Sanae Matsunaga

取得学位：博士(看護学) (宮城大学)

所属：実践教育センター

研究分野：感染対策、国際看護

キーワード：感染対策、アウトブレイク、パンデミック、国際支援

取り組み内容

地球温暖化の影響を受け、新興・再興感染症の流行が繰り返されており、私たちの生活に深刻な問題を与えています。医療関連施設の感染対策はもちろんのこと、今後は地域における住民参画の感染対策が必須となってきます。グローバル社会を迎え、感染症に国境はありません。国際支援における感染対策、国内外の地域における感染対策をテーマとして研究に取り組んでいます。

菌やウイルス等と共存できることを目標に、私たち人類ができる持続可能な感染対策を考えています。

●パンデミック発生時に国際支援を担う看護職の準備教育プログラムの教材の一部紹介 (日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究(C)18K10640 の助成を受け作成)



●患者用カード

No1 ○○歳 ○性 ○婚 同居家族○人
発熱 リンパ節の腫脹 倦怠感
筋肉痛 慢性的な腹痛
咽喉頭痛 口内炎 発疹
1週間前から症状が続く

●保管用カード

No1 ○○歳 ○性 ○婚 同居家族○人
熱 リンパの腫れ だるさ
筋肉痛 長引く腹痛
のどの痛み 口内炎 発疹
1週間前から症状が続く エイズ

No2 ○○歳 ○性 ○婚 同居家族○人
高熱 悪寒 頭痛 筋肉痛
関節痛 下痢 嘔吐
症状3日以上経過

No2 ○○歳 ○性 ○婚 同居家族○人
高熱 寒気 筋肉痛や関節痛
むかつき 下痢
症状が治まらず受診した マラリア

トリアージゲーム教材

メッセージ

感染症の流行は、自然災害の一つだと捉えています。研究にご興味ある方は、ぜひご連絡ください。一緒に感染対策に取り組みましょう。